

令和7年度 こども 若者いけんぷらすさくら ワークショップ報告書



令和7年9月

佐 倉 市

1 事業概要

(1) 実施目的・ワークショップテーマ

令和7年度新設事業である「こども若者  いけんぷらすさくら」のこども若者からの意見を聴く場のひとつとして、ワークショップを開催しました。

令和7年度こども  若者いけんぷらすさくらワークショップのテーマは、『『ヤングプラザ』の今とこれから』です。佐倉市では、老朽化するヤングプラザの機能を今後ミレニアムセンター佐倉に移転する計画を進めており、新しいヤングプラザを若者が通いとなる施設にすることを目的に若者に施設の在り方について意見を聴きました。

(2) 概要

ワークショップは、次の日程で開催しました。

日程：令和7年9月7日（日）10：00～15：00

会場：ヤングプラザ学習室 ミレニアムセンター佐倉第3・4会議室

※ 当初は、令和7年8月3日（日）に開催予定でしたが、7月30日に台風予報が出たため、7月31日に延期の判断を行いました。

(3) 参加者内訳

令和7年度こども  若者いけんぷらすさくらに登録したこども若者17名のうち、10名が参加しました。内訳は次のとおりです。

なお、以下の参加者とは別で、広報リポーター1名が広報番組の撮影で、千葉大学工学部大学院湯浅研究室の学生が自身の研究題材集めとして参加されました。

広報リポーターは、アイスブレイク・意見交換ともにワークショップに参加し、千葉大学院生は、オブザーバーとして参加しました。

【参加者 内訳】

年代	10代	20代	30代
参加人数	4名	5名	1名
合計	10名		

※参考 【いけんぷらすさくら 登録者内訳】

年代	10代	20代	30代
登録人数	8名	8名	1名
合計	17名		

2 当日の流れ

時間	場所	内容	
9:45	佐倉市ヤング プラザ (2階学習室)	受付開始	
10:00		ワークショップ開会	本日のワークショップについての説明 開会のご挨拶
10:05		自己紹介タイム	偏愛マップを活用した自己紹介 (3分×6ターン)
10:30		宿題発表	宿題「あなたは、施設で何したい??」の自分の意見を共有
11:10		休憩	10分休憩
11:20		市職員の講義	佐倉市職員から講義 「『ヤングプラザ』のいまとこれから」
11:40		施設見学	ヤングプラザ職員と市職員と施設を巡ります。
12:10	移動	ヤングプラザ⇒ミレニウムセンター佐倉へ移動	
12:20	ミレニウム センター佐倉 (第3・4会議 室)	施設見学	佐倉市職員が解説しながらご案内します。
12:40		昼食	
13:40		意見出しワークショップ	若者の皆さんの「やりたいこと」を新ヤングプラザに紐づけるワーク
14:30		意見の発表	
14:50		ワークショップ閉会	閉会のご挨拶

(1) 開会挨拶

ワークショップの趣旨・目的の説明、本日のスケジュール等について説明しました。

【スケジュール】

冒頭説明 (5分)

班長挨拶 (5分)

↓アイスブレイクの様子



(2) 偏愛マップを活用した自己紹介、アイスブレイク

事前に参加者へ偏愛マップの作成と持参を依頼し、偏愛マップを活用した自己紹介を行いました。2人用机の隣同士ペアを組み、1組あたり3分間、偏愛マップに書かれたお互いの好きなもの・興味があるものを互いに紹介しました。1セットが終わったら、机の左側の人が席を動き、次の相手と自己紹介を行うようなローテーションで、計6セットを実施し、参加者の半数とコミュニケーションが取れるような場としました。

(3)【ワーク①】宿題発表

事前課題として「あなたは、施設で何したい？」のワークを依頼しており、その意見を交換する場としました。

ワーク前半では、自身の考えた意見を班で共有し、ワークの後半では、班で出た意見をグルーピングする作業を行いました。

講義の前に宿題発表をした理由としては、講義内容の先入観なく、若者たちに自由な意見を出してもらうためです。

各班のグルーピング後の意見をまとめた模造紙は、別添1のとおりです。



↑ 班で意見のグルーピングを行う様子

(4) 市職員によるヤングプラザに関する講義

ヤングプラザを管轄する部署である佐倉市こども政策課青少年育成班から和田主査補が講師として、現在のヤングプラザ、将来のヤングプラザの展望について説明しました。



↑ 講義の様子

(5) ヤングプラザ・ミレニアムセンター佐倉の施設見学

① ヤングプラザの施設見学

ヤングプラザの職員・こども政策課青少年育成班の職員が、ぷらすメンバーへ施設を紹介しました。

施設を見ながら、現在、各部屋がどのような用途で使用されているか、などの使用用途についての説明を行いました。

② ミレニアムセンター佐倉の施設見学

こども政策課青少年育成班の職員が、ぷらすメンバーへ施設の紹介しました。普段立ち入ることができない5階や屋外デッキも、ミレニアムセンター佐倉管理人立ち合いの元で、入らせていただくことができました。

施設を見ながら、現在、各部屋がどのような用途で使用されているか、ヤングプラザ機能が入る場合の部屋の仕様の使途（暫定案）の説明を行いました。



↑ 施設見学の様子

(6) 【ワーク②】「やりたいこと」を施設に当てはめるワーク

① ワーク②のルール説明

ワーク①で班に共有した「施設でやりたいこと」をミレニアムセンター佐倉の図面に当てはめるという作業内容をファシリテーター（市職員）からぷらすメンバーへ説明しました。

② ワークの実施

ぷらすメンバー同士で意見交換をしながら、若者の思い描く新ヤングプラザを創るワークを行いました。ワークの内容が反映されたミレニアムセンター佐倉図面は、別添2のとおりです。また、ワーク内の話し合いの内容を記録した資料は、別添3のとおりです。

③ 班の意見発表

各班で考えた若者の居場所となる理想の施設について、その意見になった理由も踏まえつつ発表しました。

3 ワークショップを振り返って

こども  若者いけんぷらす事業実施初年度だったので、この事業にかかる初のワークショップの開催となりましたが、ぷらすメンバーのたくさんの意見が飛び交う有意義な時間となりました。

以下、今回のワークショップの振り返りを項目ごとにまとめました。

【参加者アンケート結果について】

参加者 10 名のうち、8 名からアンケートを回収しました。

- 「今回のワークショップのテーマは、ご自身の関心のある内容でしたか。」という質問には、8 名全員が「非常に関心のある内容だった」という回答でした。
- 「今回のワークショップの感想があれば教えてください。」という質問に対して、以下のような回答が出ました。

「とても有意義な意見が出たので行う意義があると感じた。」

「幅広い世代と話ができて充実した時間になりました。」

「様々な意見があって非常に参考になった。」

「世代は同じではありませんが、自分と同じ年齢ではない人と佐倉市の将来について話し合えて良かったです。」

「同世代の人と色々な意見交換ができてとても、楽しかったです。自分達の出した意見が、今後活用されていくのが、佐倉市に貢献している気分がとても嬉しかったです。」

- ワークショップのテーマとして関心があるものを質問したところ、自由記述で「地域の活性化」、「不登校など思春期に特徴ある社会的問題について」、「若者が住みやすい街にするには」、「部活動の地域移行について」、「佐倉市の活性化について」という回答があがり、若者世代に近い内容の問題に関心がある傾向が見られます。

- 今後、こども 🌸 若者いけんぷらすさくらの活動として参加してみたいものを質問したところ、自由記述で「地域の広報活動や活性化など」、「こどもと育児者に関連したイベントに参加してみたいです。」、「子ども防災イベント、佐倉市の取り組みについての意見交換」という意見が出ました。

【フィードバックについて】

年内には、参加いただいたぷらすメンバーの皆さんにフィードバックを実施する予定です。しかしながら、佐倉市ヤングプラザ機能をミレニアムセンター佐倉に移行する計画は約5年後の実行を計画しており、すぐに意見反映の効果を検証することができません。

そのため、今回ぷらすメンバーから出た意見の中から、ヤングプラザを所管する佐倉市こども政策課青少年育成班が採用するか否かを分別し、その内容をフィードバックすることとしました。令和7年中に、フィードバックを実施する予定です。